

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和07年06月10日	
愛知県知事 殿	
提出者	
住 所 長崎県長崎市飽の浦町1-1	
氏 名 三菱重工業株式会社	
エジントメイン スチームパワ事業部	
建設部 建設課長 林 秀英	
電話番号 095-828-6550	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	田原バイオマス発電所合同会社 田原バイオマス発電所建設工事
事業場の所在地	愛知県田原市白浜二号4-8
計画期間	令和07年04月01日～令和08年03月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	25：はん用機械器具製造業
② 事業の規模	約175億円（田原バイオマス_MHI取分額）
③ 従業員数	1名（令和7年4月末現在）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙-1「産業廃棄物の発生フローシート」の通り

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 建設所長 ← 統括責任者 ↓ 環境保全責任者 ↓ 取纏工事責任者 (処理計画責任者) ↓ 施工責任者 (廃棄物担当)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラ	木くず
	排 出 量	142.079 t	245.080 t
	(これまでに実施した取組) 【廃プラ、木くず】 分別の推進による再資源化		
② 計画	【今年度（令和7年度）目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラ	木くず
	排 出 量	50.000 t	50.000 t
	(今後実施する予定の取組) 【廃プラ】 現状の取り組みを継続推進する。 【木くず】 現状の取り組みを継続推進する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 処分先の受け入れ基準に適合するように産業廃棄物の種類、性状及び荷姿毎に分別を実施している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状の取り組みを継続推進する。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙- 2	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	廃棄物の処理委託は、再生利用業者の事業内容・再生内容を随時確認し、積極的な再生利用処理業者への処理委託を推進した。		

	② 計画	【今年度（令和7年度）目標】		
		産業廃棄物の種類	別紙-2	
		全 処 理 委 託 量	t	t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
		(今後実施する予定の取組) 引き続き、再生利用業者への処理委託を推進する。		
	※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の発生フローシート



産業廃棄物の処理の委託に関する事項

1. 産業廃棄物の処理の委託に関する事項【前年度（令和6年度）実績】

[単位：t]

産業廃棄物の種類	処理委託量					備考
	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器	387.000	0.000	387.000	0.000	0.000	
がれき類	10,134.092	0.000	10,134.092	0.000	0.000	
金属くず	7.458	0.000	7.458	0.000	0.000	
紙くず	72.300	0.000	72.300	0.000	0.000	
廃プラスチック類	142.079	0.000	142.079	0.000	0.000	
廃油	0.630	0.000	0.630	0.000	0.000	
木くず	245.080	245.080	0.000	0.000	0.000	

2. 産業廃棄物の処理の委託に関する事項【今年度（令和7年度）目標】

[単位：t]

産業廃棄物の種類	処理委託量					備考
	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器	20.000	0.000	20.000	0.000	0.000	
がれき類	100.000	0.000	100.000	0.000	0.000	
金属くず	66.200	0.000	46.338	0.000	0.000	
紙くず	2.500	0.000	2.500	0.000	0.000	
廃プラスチック類	50.000	0.000	50.000	0.000	0.000	
廃油	1.000	0.000	1.000	0.000	0.000	
木くず	50.000	50.000	0.000	0.000	0.000	